

一定の規模以上の土地の形質の変更届出の手引き (有害物質使用特定施設^{有り})



1. 概要

佐賀市内において一定規模以上の土地の形質を変更^{*1}しようとするときは、土壤汚染対策法に基づいて市に届出をする必要があります。

市は、届出された土地が特定有害物質によって汚染されているおそれがある場合には、土地所有者等^{*2}にその土地の土壤調査を命令することになります。

※ 1 土地の形質の変更：掘削（杭打ちや構造物を埋める等の行為を含む）や盛土（仮盛土を含む）等の、土地の形状を変更する行為全般です。原地盤の形質が変更されるか否かで判断してください。

※ 2 土地の所有者等：通常、土地の所有者です。管理の実態等から管理者や占有者となる場合もあります。

2. 届出の対象

対象の区分		面積・届出	届出者	届出の期限
土地の区分	①有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査が一時的に免除されている土地（ただし書確認を受けている土地）	900 m ² 以上の土地の形質の変更 （法第3条第7項の形質変更届出）	土地の所有者等	形質変更の予定日より充分前
	②有害物質使用特定施設を設置している工場・事業場の土地	900 m ² 以上の土地の形質の変更 （法第4条第1項の形質変更届出）	土地の形質変更を行う者	着手日の30日前まで
	③有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査義務のある土地（①を除く）			

※有害物質使用特定施設とは、水質汚濁防止法第2条第2項の特定施設であって特定有害物質（26物質）をその施設で製造し、使用し、又は処理するものです。

《 届出対象外行為 》

土地の形質変更を行う際に、例外として以下の①～⑤のいずれかに該当する場合は届出の対象外となります。

① 土地の形質変更が盛土だけの場合

※一部でも掘削（杭打ちや構造物を埋める行為等を含む）を伴う場合は、盛土範囲も含めて届出対象となります。

② 土地の形質の変更を行う部分の深さが 50cm 未満^{*1}であって、形質変更対象土地の区域外への土壌の搬出を行わず、土壌の飛散・流出^{*2}を伴わない行為

※ 1 土地の形質の変更に係る部分の中に一部でも地表から深さ 50cm 以上掘削する場所があれば、その他の掘削深度が 50cm 未満でも届出の対象となります。また、全ての掘削深度が 50cm 未満であっても、飛散又は流出又は区域外へ搬出があれば届出の対象です。

※ 2 「土壌の飛散・流出」とは、土地の形質の変更を行う場所からの土壌の飛散又は流出を指し、届出対象外となるためには、防塵ネットの使用や、集水溝を設け、土壌をシートで覆うなどの外部への流出防止や飛散防止のための対策が必要となります。

③ 農業を営むために通常行われる行為（耕起、収穫等）や、林業の用に供する作業路網の整備で、それぞれ土壌の当該形質変更対象土地の区域外への搬出を伴わないもの

④ 鉱山関係の土地において行われる土地の形質変更

⑤ 非常災害のために必要な応急措置として行う行為

※「ただし書確認」を受けている土地の形質の変更の際の届出対象外は①, ②, ④, ⑤の場合になります。

3. 届出の期限

①有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査が一時的に免除されている土地（ただし書確認を受けている土地）

土地の形質の変更に着手する前まで

※届出を行うと形質の変更に係る掘削部分に対して市長が調査・報告を命じます。届出の提出期限はありませんが、調査や行政手続等に相当の期間を有することが想定されますので、余裕をもって手続き等をしてください。

②有害物質使用特定施設を設置している工場・事業場の土地

③有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査義務のある土地（①を除く）

土地の形質の変更に着手する日の30日前まで（中30日）

※「着手する日」とは、土地の形質の変更そのものに着手する日をいい、契約事務や設計等の準備行為は含みません。

4. 届出義務者

①有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査が一時的に免除されている土地（ただし書確認を受けている土地）

届出を行うものは、「土地所有者等」です。

※土地所有者等とは、土地の所有者、管理者及び占有者のうち、土地の掘削等を行うために必要な権限を有し土壤汚染状況調査の実施主体として最も適切な一者に特定されるものであり、通常は、土地の所有者が該当します。尚、土地が共有物である場合は、共有者のすべてが該当します。

②有害物質使用特定施設を設置している工場・事業場の土地

③有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査義務のある土地（①を除く）

届出を行うのは、「土地の形質を変更しようとする者」です。

具体的には、土地の形質変更の施工に関する計画の内容を決定する者です。

（例）・土地の所有者等とその土地を借りて開発行為等を行う開発業者等の関係では、開発業者等です。

・工事の請負の発注者と受注者の関係では、その施工に関する計画の内容を決定する責任をどちらが有しているかで異なりますが、一般的には発注者です

5. 届出書類

- ①有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査が一時的に免除されている土地（ただし書確認を受けている土地）

届け出書類一覧	チェック
一定の規模以上の土地の形質の変更届出書（様式第六） ・記載例①を参考に作成してください。	☐
土地の形質の変更の対象となる土地の位置図 ・記載例④を参考に作成してください。 ・住宅地図等に土地の形質の変更の事業の場所が分かるように記載してください。	☐
土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした平面図、立面図、断面図 ・記載例⑤、⑥を参考に作成してください。 ・色分け等を行い、盛土と掘削（杭打ちや構造物を埋める等の行為を含む）の区別をしてください。	☐
形質変更する土地の公図の写し（又は土地の形状と地番が把握できる図面） ・土地の形質変更を行う事業区域界を赤線で記載してください。	☐
ただし書き確認を受けている範囲を示す書類	☐

②有害物質使用特定施設を設置している工場・事業場の土地

③有害物質使用特定施設の使用廃止に係る土壤汚染状況調査義務のある土地（①を除く）

届け出書類一覧	チェック
一定の規模以上の土地の形質の変更届出書（様式第六） ・記載例②を参考に作成してください。	☐
形質変更する土地の地番及び土地所有者等の一覧表 ・記載例③を参考に作成してください。	☐
土地の形質の変更の対象となる土地の位置図 ・記載例④を参考に作成してください。 ・住宅地図等に土地の形質の変更の事業の場所が分かるように記載してください。	☐
土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした平面図、立面図、断面図 ・記載例⑤、⑥を参考に作成してください。 ・色分け等を行い、盛土と掘削（杭打ちや構造物を埋める等の行為を含む）の区別をしてください。	☐
土地利用履歴書 ・記載例⑦を参考に作成してください。 ・その他、当該土地における土壤の特定有害物質による汚染のおそれを推定するための有効な情報が記載された書類（過去の土壤汚染調査結果、過去の地図など）があれば、併せて提出してください。	☐
形質変更する土地の公図の写し（又は土地の形状と地番が把握できる図面） ・土地の形質変更を行う事業区域界を赤線で記載してください。	☐
※ 届出者が土地の所有者等でない場合 土地の所有者等の所在が明らかとなる書面 ・登記事項証明書、占有許可書等の写しを添付して下さい。	☐

6. 提出部数

1 部（控えを希望される場合は、2 部）

7. 提出先

佐賀市 環境部 環境保全課 環境保全係

〒849-0917 佐賀市高木瀬町大字長瀬 2563 番地 1（旧清掃センター 2 階）

電話 0952-30-2436 FAX 0952-30-2439

E-mail kankyohozen@city.saga.lg.jp

記載例①

様式第六（第二十一条の二第一項、第二十三条第一項関係）

一定の規模以上の土地の形質の変更届出書			
佐賀市長		様	
届出者が法人の場合は、代表者の氏名も記入してください。		年 月 日	
届出者		佐賀県佐賀市栄町1番1号 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 △△△△	
第3条第7項 土壤汚染対策法第4条第1項の規定により、一定の規模以上の土地の形質の変更を行うに際し、一定の規模以上の土地の形質の変更を行う場所を明らかにした図面を添付して下され。			
土地の形質の変更の対象となる土地の所在地	(住居表示) 佐賀市〇〇町〇丁目〇番〇、〇番△ (位置図) 別紙△のとおり	地番は全て記入して下さい。 地番数が多く全て記載できない場合は、「他〇筆 一覧表」を別紙〇のとおりとし、別紙に記載して下さい。	
土地の形質の変更の場所	別紙〇、□のとおり	土地の形質の変更を行う場所を明らかにした図面を添付して下さい。	
土地の形質の変更の対象となる土地の面積及び当該土地の形質の変更に係る部分の深さ	〇〇㎡（うち掘削□□㎡、盛土△△㎡） 深さ 最大15.0m	土地の形質の変更が行われる部分の面積、最も深い深度を記入して下さい。	
土地の形質の変更の着手予定日	〇〇年〇〇月〇〇日		
法第3条第1項のただし書の確認を受けた土地において法第3条第7項の規定による土地の形質の変更をする場合	工場又は事業場の名称 工場又は事業場の敷地であった土地の所在地	■■■■株式会社〇〇工場 佐賀市〇〇丁目〇番〇、〇番〇	
現に有害物質使用特定施設等が設置されている工場又は事業場の敷地において法第4条第1項の規定による土地の形質の変更をする場合	有害物質使用特定施設が設置されている工場又は事業場の名称 有害物質使用特定施設の種類の種類 有害物質使用特定施設の設置場所 特定有害物質の種類	最初に土地の形質の変更を行う日を記入して下さい。 土地登記簿謄本上の地番を記載して下さい。 筆数が多い場合には、地番一覧表を作製のうえ、他〇筆と記載して下さい。	
		法第3条第7項の届出では記載する必要はありません。	

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 氏名（法人にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができる

様式第六（第二十一条の二第一項、第二十三条第一項関係）

一定の規模以上の土地の形質の変更届出書

届出者が法人の場合は、代表者の
氏名も記入してください。

年 月 日

佐賀市長 様

届出者 佐賀県佐賀市栄町1番1号
〇〇〇〇株式会社
代表取締役 △△△△

第3条第7項
第4条第1項
 土壤汚染対策法の規定により、一定の規模以上の土地の形質の変更について、次のとおり届け出ます。

別紙1にて地番を記載してください。

別紙2にて位置図を添付してください。

土地の形質の変更の対象となる土地の所在地	別紙1、2のとおり	土地の形質の変更を行う場所を明らかにした図面（平面図・断面図）を添付してください。
土地の形質の変更の場所	別紙〇、□のとおり	
土地の形質の変更の対象となる土地の面積及び当該土地の形質の変更に係る部分の深さ	〇〇㎡（うち掘削□□㎡、盛土△△㎡） 深さ 最大15.0m	土地の形質の変更が行われる部分の面積、最も深い深度を記入してください。
土地の形質の変更の着手予定日	〇〇年〇〇月〇〇日	
法第3条第1項のただし書の確認を受けた土地において法第3条第7項の規定による土地の形質の変更をする場合	工場又は事業場の名称 工場又は事業場の敷地であった土地の所在地	法第4条第1項の届出では記入する必要はありません。
現に有害物質使用特定施設等が設置されている工場又は事業場の敷地において法第4条第1項の規定による土地の形質の変更をする場合	有害物質使用特定施設が設置されている工場又は事業場の名称 有害物質使用特定施設の種類の種類 有害物質使用特定施設の設置場所 特定有害物質の種類	最初に土地の形質の変更を行う日を記入して下さい。 65 酸又はアルカリによる表面処理施設 別紙□のとおり 六価クロム化合物, シアン化合物

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

備考 2 氏名（法人にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができる。

形質変更する土地の地番及び土地所有者等の一覧表

	形質変更する土地の所在地 (地番表示)	地目	土地の所有者 等の氏名	土地の所有者等の住所 及び連絡先等
例	佐賀市高木瀬町大字長瀬 2563 番 1	宅地	佐賀市	佐賀市栄町 1 番 1 号 電話:0952-24-3151
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

位置図

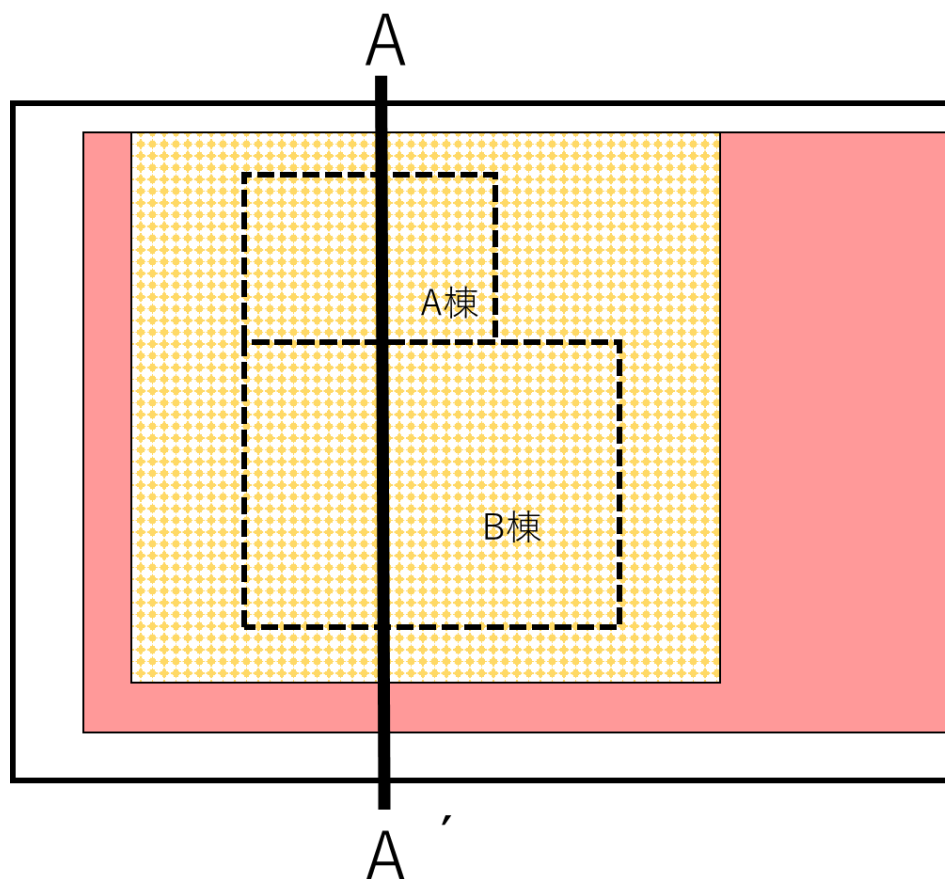


- ・ 事業の場所が分かるような位置図を添付してください。
- ・ 市販の地図のコピーを使用する場合は、著作権者から使用承諾を取得してください。

記載例④

別紙○

土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした図面（平面図）



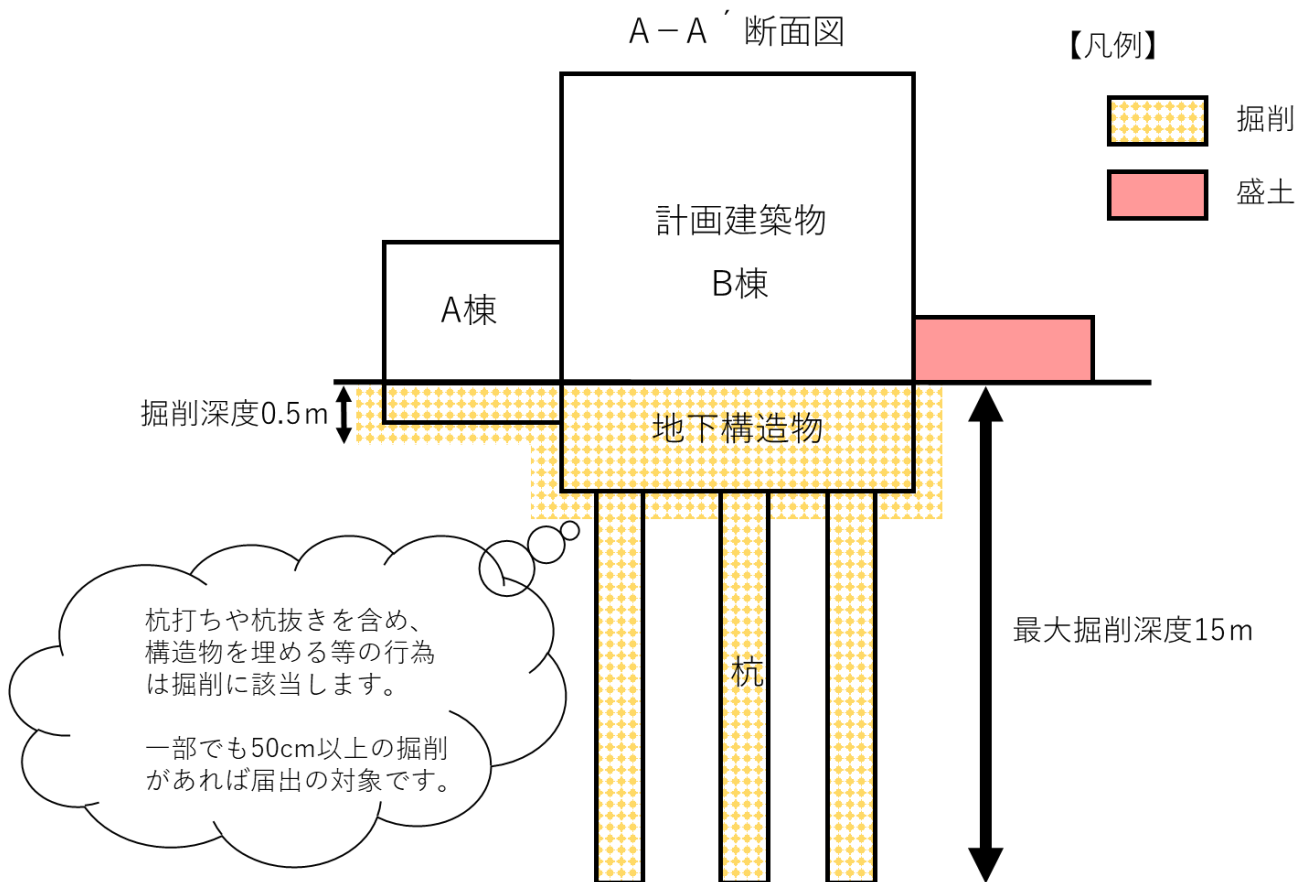
【凡例】

	事業範囲
	掘削（□□㎡）
	盛土（△△㎡）

- ・掘削部分と盛土部分を区別し、それぞれの面積を記載してください。
- ・建築物を建設する場合、建物を配置する位置も記載してください。

別紙□

土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした図面（立面図・断面図）



- ・掘削部分と盛土部分を区別してください。
- ・複数掘削する箇所がある場合は、それぞれ掘削深度を示してください。
- ・建築予定建物等がある場合は示してください

土地利用履歴書

1 土地の所在地（地番）

土地の形質変更の対象となる土地の地番を記入してください。「届出書に記載のとおり」のような表現でもかまいません

佐賀市〇町〇丁目〇番〇、〇番▲

2 利用状況

□にチェック印又は■で、設置の有無の区別をしてください
※項目に掲げる施設の設置の有無は、過去も含めてチェックしてください。

項 目	設置の有無
水質汚濁防止法に基づく特定施設	■有 □無
ガソリンスタンド	□有 ■無

1 上記内容で有の場合は、その内容（設置されている又は設置されていた施設の種類等、設置年月日又は廃止年月日）

水質汚濁防止法別表第1の71-3号：一般廃棄物処理施設

設置 19××年〇月△△日

廃止 19××年×月△△日

特定有害物質の使用はなし。

特定有害物質に係る情報も記入してください。

2 その他の土地利用履歴

具体的な土地の利用方法を記載してください。
分かる範囲でかまいません。

・地目

■田・畑 □山林 □水路 □里道

■宅地（具体的に ○〇スーパー、〇〇会社）

□雑種地（具体的に）

□その他（具体的に）

・履歴等

～19××年 田として利用

19××年 スーパー建設

19××年 スーパー解体

19××年 廃棄物処理場建設 以後、現在に至る

※ 項目に掲げる施設の設置の有無は、過去も含めてチェックしてください。